

2020春闘課題 分配構造の転換への賃上げを

2020年春闘の方針論議が本格化しています。

私たちの実質賃金と可処分所得は下がり、生活は苦しくなるばかり。大企業の内部留保(ため込み利益)だけが国家予算をはるかに上回る規模で膨れ上がるといふ分配構造を改めるには、しっかりと賃上げが絶対に必要です。

働くことに関わる改正法の施行も目白押しです。法を上回る水準の処遇改善を進め、社会全体に広がるのも春闘の大事な役割です。

【日本全体に賃上げを拡大】

生活が苦しい。実質賃金は2012年からこの6年間で大幅に低下。物価上昇に追いついていません。内閣府によると2人以上の勤労世帯の可処分所得は、ピークの1990年代半ばから約3万円(40〜64歳)も減少しています。社会保険料の負担増が主な要因です。一方で、企業の内部留保は第2次安倍政権以降、150%増の450兆円に膨れ上がりました。この分配構造の転換が日本社会の課題となっています。

春闘は、1955年に始まった日本独自の賃上げ交渉スタイルです。企業ごとにつくる日本の労組の弱点を補い、みんなで一斉に賃上げを要求し回答を引き出すことで社会全体に賃上げを波及させ

る仕組みです。

【非正規の均等・勤衛処遇へ】

2020年4月は、非正規労働者の賃金や、一時金などの手当・福利厚生などについて、職場内の正社員との均等・均衡を義務付けるパート・有期労働法施行されます(中小企業は2021年4月)。手当てなど個別の項目ごとに、不合理な格差がないようにしなければなりません。

法改正に携わった水町勇一郎(東京大学教授)は「一時金(賞与)について、『支給なし』は論外、『寸志』程度もダメだと強調しています。貢献に見合った支給が必要となります。職場内での不合理な格差はチームワークを阻害し、正社員の賃上げや長時間労働の是正の妨げにもなります。法律を踏み台に本腰を入れた底上げの取り組みが求められます。

【長時間労働是正の機会】

実労働時間が年間2千時間前後と高止まりしています。2020年4月には残業の上限規制が中小企業にも適用されます。36協定を見直し、時間外労働の上限を原則で週15時間、月45時間、年間360時間以内に収めるとともに、できるだけ短くするための交渉が求められます。

大企業や発注元が自社の残業を短くするために下請けに仕事を押し付ける行為を防止し、週末発注・翌週納入のような不正な取引を是正しなければなりません。そのためには労働組合の監視が必要不可欠です。

勤務終了から次の勤務開始までの休憩時間を11時間とするなどの勤務間インターバル協定の締結も重要な課題。過労による健康被害を防止する特効薬になります。

【最低賃金協定やパワハラ対策も】

法廷の地域別最低賃金を超えて、職場の賃金の下限を定める企業内最低賃金協定が近年注目されています。出版や民放の職場では時給1500円台や、千円を大きく上回る事例も報告されています。協約締結権を持つ労働組合ならではの取り組みです。

最低賃金協定が一定数集まることにより、その地域の底支えをする法廷特定(産業別)最低賃金の新設・改定にも繋がります。

2020年6月にはパワハラ防止法が施行されます。職場ごとに労使で対策や相談対応、再発防止策などを話し合い、働きやすい環境をつくりだすことも春闘の課題。65歳までの定年延長や、60歳以降の賃金の底上げも注目されます。

【20春闘で未来を切り拓こう】

20春闘では私たちの所定内賃金の引き上げとその引き上げを年収の増につなげ、雇用を守り、労働者の人権を保障し、平和な社会で暮らす中で、将来の生活設計が立てられる生活を実現しましょう。

職場や仲間、地域で本来あるべき労働、あるべき生活、『健康で文化的な生活とは』を語り合い、その姿を共有する。議論や対話による要求つくりと全国の組合員の連帯で20春闘要求を実現する。困難の根本的な要因を明らかにし、希望を語り、未来を切り拓く20春闘と位置付け、たたかいを展開していきましょう。



パリーーン!! コラー! だれじゃー!!
 おじいさんの大事な鏡が割れてしまった! 鏡にうつったおじいさんの中で1つだけまちがいがあるからさがしてみよう!

おじいさんの大事な鏡が割れてしまった! 鏡にうつったおじいさんの中で1つだけまちがいがあるからさがしてみよう!

おたすけセンター

新春♪ お年玉クイズ

今年もやいます恒例企画♪
新春! お年玉クイズ~♪

今までのクイズは簡単すぎたので、今年はちょいと難しくなっております。その分、あの10年物のお酒が当たるかも!?

正解者の中から抽選で、その他商品も用意していますので、沢山の応募お待ちしております。

※応募期限:
2020年1月1日~25日17時まで。

間違い部分に◎をした上で、住所・氏名・出身単組を明記して検数労連中央本部までFAXしてください。(連名不可)